



明治大学
MEIJI UNIVERSITY

明治大学校友会

千葉県西部支部だより

第12号
2016年
夏

発行：明治大学校友会千葉県西部支部 〒272-0835 千葉縣市川市中国分4-13-12 発行人：行木 勝雄

第51回全国校友滋賀大会開催

平成27年9月6日(日)、第51回明治大学全国校友滋賀大会が、津浦プリンスホテルにおいて行われ、千葉県西部支部からは多数の校友が参加しました。



当日の式典次第は、3部構成で行われ、全国から校友約1,200名が参加いたしました。



第1部 記念式典は、まずは大会旗入場が始まり、全員起立してから国歌斉唱・校歌斉唱を行い、物故者校友への黙祷を行った後、開会宣言がありました。

滋賀県支部岩田守弘支部長から①びわ湖と周辺の美しい自然景観②松尾芭蕉が生涯に詠んだ句の約1割が近江の風情③織田信長や豊臣秀吉に代表される「戦国歴史」や比叡山・安土城跡・彦根城の数多くの国宝・文化財や史跡など、充分にお楽しみくださいという歓迎と感謝の挨拶がありました。

大会会長の向殿政男校友会長からは「明治はひとつ、びわ湖に集う紫紺の旗をコンセプトとしたこの大会を、是非とも盛り上げましょう」と力強い挨拶がありました。

続きまして、明治大学日高憲三理事長から『スーパーグローバル大学創成支援事業に採択され世界で活躍する強く輝く「個」を育てる教育研究の実現』をするため、未来サポーター募金について校友の皆さまにご協力をお願いしたいとのご要望がありました。

福宮賢一学長からは『近江を制する者は天下を制すとの言葉があります。明治大学はトッポ・ユニバーシティとなるべく、さらなる高みを目指してまいり所存』との挨拶がありました。



そのあと、御来賓の滋賀県三日月大造知事からは『ご滞在中、湖国・滋賀の魅力をぜひ満喫して欲しい』との、また越直美大津市長からは『湖都』大津市民を代表して歓迎の御祝辞を頂きました。

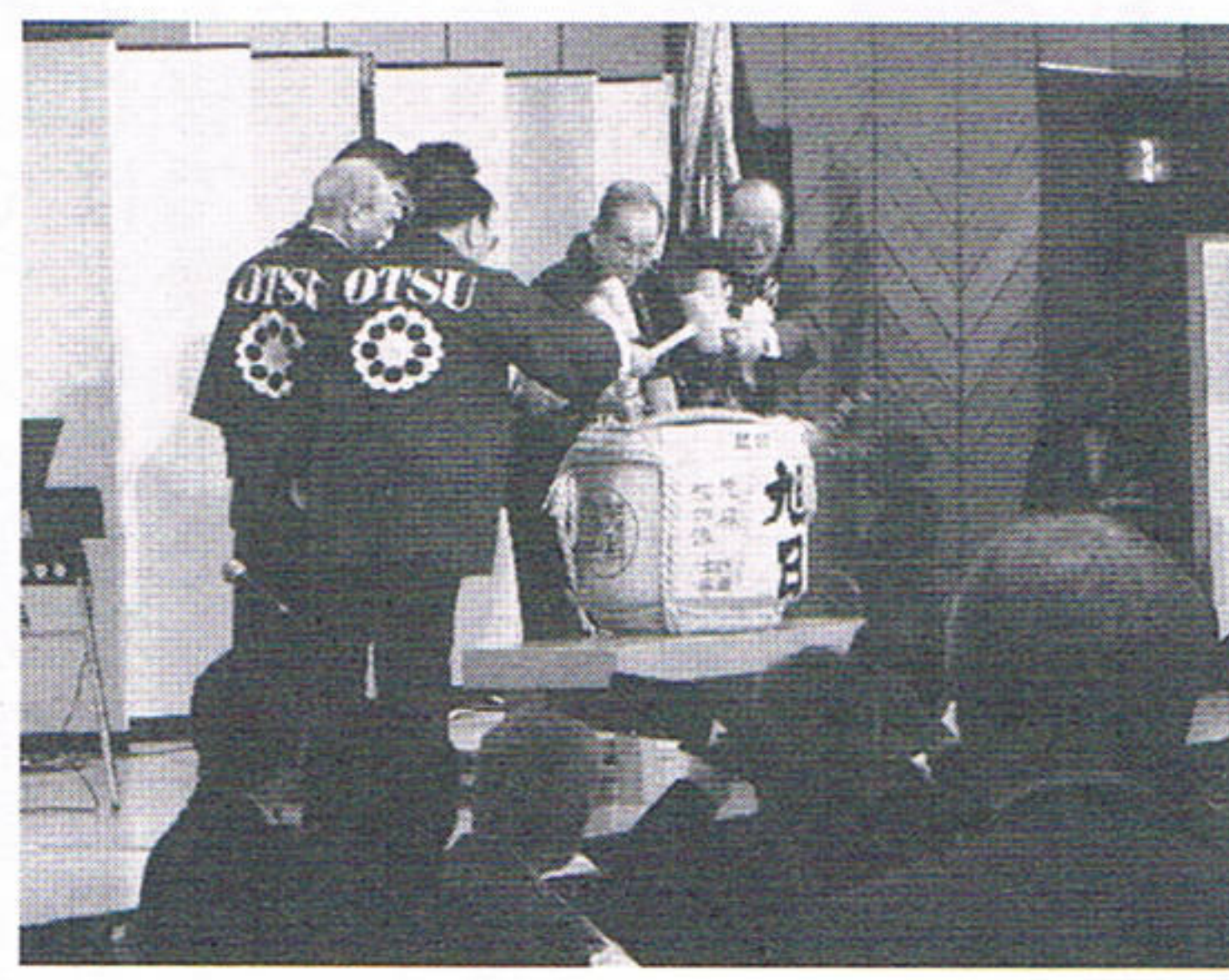
向殿会長ならびに日高理事長の音頭で万歳三唱を行い、めでたく記念式典を終了しました。

第2部 講演は、講師福宮学長から『明治大学の現況と日本の大学を取り巻く状況、①18歳人口の減少、②グローバル化、③世界へ発信する大学』の講演がありました。

また、長浜城歴史博物館太田浩司館長(昭和61年文院卒)からの**記念講演**は、『日本の歴史を変革した信長・秀吉』についての熱く語られた内容でした。

第3部 懇親会は、式典会場からコンベンションホールへ会場を移動し、まずオープニングは鏡開きによって始まりました。

向殿会長の乾杯発声で、鏡割りをに行い、やかに宴会が始まりました。



懇談中には、千葉県西部支部堀越顧問のもとに「監督・堀越さん」と駆けつける人々が多く、『人脈の豊富さ・顔の広さ』は、永年母校の競走部監督を務め、選手指導ならびに人間教育をしてこられたからこそ人が集まる証と痛感いたしました。

平成31年に開催予定の全国校友千葉大会を見据えて、事前準備と校友の協力および千葉県のPR等が大事であることを感じさせられました。

最後に滋賀県大会は、近江商人の『三方よし』売り手よし、買い手よし、世間よし』の精神が発揮され、各方面においておもてなしを受け、満足して帰ってきました。

(昭43年政経卒 穴澤豊治)

全国校友千葉大会

開催決定!

平成31年(2019年)に開催

平成27年7月26日(日)明治大学リビエータワー1階リビエータワーにて「2015年度定時代議員総会」が全国代議員388名の出席により開催されました。

議題に提出しました全国校友大会開催地について審議され、「2019年度全国校友大会」開催地は千葉県が承認され、千葉県開催が正式に決まりました。

「明治は一つ!」なら「千葉県も一つ!」の掛け声で絆を深めた千葉県東部支部・西部支部が一つになり、千葉県を大いにアピールし、全国の校友を「千葉」に集め、オモテナシの心を一つに懇親を深め、母校明治大学の発展並びに千葉県の知名度アップに尽くしてまいります。

第55回大会という節目の大会であります。多くの校友と共に、素晴らしい思い出深い大会になるよう、準備を東西支部が総力を挙げて協力体制で進めてまいります。全国校友千葉大会に校友皆様の絶大なるご協力・ご支援をお願い申し上げます。

(昭38年政経卒 関 俊雄)

千葉県西部支部のホームページ

校友会千葉県西部支部ではホームページを開設しています。千葉県西部支部の各種行事に関する情報、大学や校友会についての情報などを随時発信してまいりますので、是非ご利用下さいますよう、ご案内申し上げます。

ホームページのアドレス(URL)は下記のとおりです。

【<http://chibakoyu.dip.jp>】

柏地域支部

駿河台と柏

私が駿河台キャンパスで過ごしたのは72年、73年、田中内閣のもと沖繩返還、日中国交正常化が成され、浅間山荘事件や金大中事件が発生し、石油ショックが日本経済に混乱をもたらした、そんな時代でした。

日本のカルチェ・ラタンと呼ばれた神田駿河台には明大の他に中央大・日大理工・アテネフランセ・文化学院等があり、まさに学生街の名をほしいままにしていました。

駿河台キャンパスに通われていた方は友と喫茶店でおおいに語り合った記憶があまりでしょう。

マロニエ通りにあった、ガロの学生街の喫茶店のモデルの「マロニエ」や「レモン」「ゴロー」名曲喫茶の「丘」「田園」中大近くの「ハイライト」・・・今はフアーストフードやチェーンのコーヒーストップばかりで大人数でゆっく

り語り合える「喫茶店」は姿を消してしまつて淋しい限りです。食事はもちろん「師弟食堂」がメインでしたが、御茶ノ水駅近くにあった「キッチンカロリー」と中華の「とちぎや」へは良く行きましたが、両方とも現在もちゃんと営業中です。

しかしながら一番の思い出の店は駿河台下・靖国通り沿いにあった「キッチンムサシノ」で店主には本当に可愛がつてもらいました。就職した大塚製菓が神田司町にあったので、たまに足を延ばして訪れた際は「お前、神田にいるんだつたらもつと顔を出さなきゃだめじゃないか」と怒られたものです。閉店後、その場所はマツモトキヨシ等を経て今はマクドナルドになつてます。大学から駿河台下に向かう途中にたくさんあった雀荘もほとんど姿を消し、マロニエ通にあったピリヤード場もなくなつて長い時間が経ちました。

中大の跡地が三井住友海上になつていくように学生街からビジネス街と変貌を遂げている駿河台ですが、リパティタワーが聳え立つ我等が明治大学は他の場所に移転する筈もなく、いつまでも心のよ

う。柏市に居住して今年の1月に満20年を迎えましたが、強く思うのは、百貨店、ホームセンター、主な家電量販店、美味しいお店等々が揃つている為、わざわざ都内まで出掛なくても柏で用が足りるということです。

柏で美味しいお店と言えば、誰もが思いうかべる有名店としてそばの竹やぶ、中華の知味齋、又行列店としてカレーのボンベイ、ホワイト餃子が挙げられますが、ここでは私自身が訪れて美味しいと思つたお店を紹介することにします。

ラーメンは南柏・ぼーからう、泉町・AKEBI、とんかつは旭町・瓢、明原・塩梅、中華は花野井・元祥、中央・深澤ラーメン、洋食は明原・伍平、うどんは松葉町・成味、焼き鳥は東上町・TORI扇、居酒屋は柏・ふか川、柏・魚久商店、ワイン居酒屋は東上町・たつみ、韓国料理はレイソル通・たんぼぼ、以上が私のお勧め店です。柏地域支部以外の西部支部の皆様も柏にお越しの際は立ち寄つてみて下さい。

柏には旧吉田家住宅公園、あけぼの山農業公園、布施弁天、柏レイソルのホームスタジアム日立柏サッカー場などたくさん見どころがあります。

そんな魅力的な町・柏で今後も楽しみを見つけ、明大柏地域支部の幹事としても頑張つて行きたいと思つています。

(昭49年政経卒 今井 享)

浦安地域支部

浦安地域支部の活動について

昨年5月の総会において山中支部長、秋葉・沢木・六井3氏の副支部長を選出し、新たな体制でスタートした浦安地域支部です。

新体制2年目の今年度は、昨年に続き新会員の発掘をメインに、会員相互の交流と親睦を中心に事業を展開してまいります。

恒例となつた「市民まつり」における明大校友会ブースでのPR活動では、現役学生やOBの方にお立ち寄りいただき



名を超える問い合わせがあり、その内6名の新会員を迎えることが出来ました。この勢いを今後も継続していき、地道に会員を増やして、イベントを通じて地域に校友会活動が浸透していければと考えております。特に30歳、40歳代の若手の参加が少ない現状なので、この世代の加入に力を注いでいき、世代交代を図りたいと思つています。

今年度のイベントとしては、恒例の美浜公園でのお花見に始まり、市内の温泉施設での暑気払い、市内の名所・旧跡を巡るウォーキング、卒業して以来訪れることの少ない明治大学の駿河台校舎や和泉校舎訪問、忘年会や新年会とバラエティに富んだ内容で開催し、会員同士の交流・親睦を深めていきます。

また母校明治大学との関連については、ホームカミングデイや全国校友大会への参加、六大学野球やラグビーの応援、さらに出場が決まれば来年のお正月の箱根駅伝の応援にも皆で繰り出そうと計画を立てています。

今年も地域に根差した浦安地域支部として活動してまいりますので、皆様方のご鞭撻をよろしく願ひいたします。

(昭52年法卒 板橋純三郎)

我孫子地域支部

マンドリン倶楽部チャリティ演奏会

我孫子地域支部・柏地域支部主催、流山地域支部協力の3支部合同で2年に一度開催している第8回明治大学マンドリン倶楽部チャリティ演奏会を平成27年9月23日(水、祝)に新装リニューアルされた柏市民文化会館大ホールで開催しました。前年度の準備会から昨年の9回の実行委員会を3支部協力のもと計画を立て準備を進めました。

当日は初秋の晴天にも恵まれ、満員の観客を迎える事が出来ました。今回の演奏会は、長年マンドリン倶楽部の興隆に尽力された音楽監督で常任指揮者でもある甲斐靖文氏を招聘し、タクトを振つて頂きました。やはり甲斐指揮者だと演奏が締まり、歯切れが良いという声がありました。

アンケートを実施したところ回収率が56%もあり普通の音楽会では考えられな

い高い回答率でした。それだけ聴きに來てくださった観客の思い入れが深いコンサートであることがわかります。

このアンケートから得られたポイントを要約しますと次のようになります。

- ① 来回答者の90%以上が再演を希望しています。
② 客層では女性が60%以上を占め、年齢構成も60歳代から70歳代が90%を占めており、圧倒的にオールドファンが多いのが特徴です。
③ 今後の開催に於いて引き続き検討を要する事は、女性や高齢者のための会場のバリアフリー化や指定席制の導入等が課題であることがわかりました。

なお、例年同様、後援を頂いた我孫子市教育委員会には「めるへん文庫」に寄付をいたしました。社会福祉協議会に対する寄付も例年同様で他支部も夫々実施しました。

又、今回は隣接する茨城県常総市の鬼怒川決壊による水害に対して義援金を募つたところ53万円が集まり、常総市に寄付した事を付記しておきます。

(昭42年法卒 犬竹 昭)

市川地域支部

和泉&生田キャンパス・ツアー

一昨年好評でした明治大学キャンパス・ツアーを昨年も開催しました。今回は農学部、理工学部の生田キャンパスと文系の1、2年時を過ごす和泉キャンパスです。参加者は14名でした。

9月26日(土)、JR市川駅に集合して、まずは生田キャンパスへ。多摩丘陵の丘の上の緑豊かな東京ドーム4個分の広大なキャンパスの中に研究棟、実験棟を含む農学部、理工学部の校舎や温室、圃場(ほじょう)などがあります。学生たちは「こんにちは」と明治大学らしい元気な挨拶をしてくれて、気持ちのいいキャンパスの雰囲気です。植村直己記念碑前で記念撮影して、食堂館スクエア21で昼食をとつた後、和泉キャンパスへ向かいます。

明大前駅を降りて甲州街道を渡ると久しぶりの和泉キャンパスです。和泉キャンパス



では、最新設備のメディア棟や体育館を見学しましたが、一方、階段教室のある第二校舎もまだあり、当時の授業風景を懐かしく思い出しました。最後に百三周年記念事業の一つとして平成24年5月に開館した「明治大学創立百三周年記念和泉図書館」を案内してもらいました。「利用者を優しく包みこむ空間」を内装計画の理念として、1階の床や天井面、書架側面などの木質仕上げ材を用い、躯体の仕上げ面についてもホワイトコンクリートでの杉型枠化粧打放しによる柔らかい色調の木質感で表現された、学生が心地よく利用できる空間となっていました。その後、和泉キャンパスを後にして、御茶ノ水へ。駿河台キャンパスのリバティタワー23階で会食しながら学生時代の懐かしい話など語り合っており、2回目のキャンパスツアーは終わりました。



(昭47年政経卒 明村澄雄)

松戸地域支部

松戸地域支部の歩みと雑感

平成10年11月29日明治大学校友会松戸地域支部が、紆余曲折を経た中で誕生することができました。私も創立時に副支部長としてお手伝いできたことに喜びを感じています。

平成27年11月15日第18回の支部総会を終え、これまでの歴史を振り返ると、光陰矢のごとしの心境であります。

毎年総会・新年会・全国大会への参加、小旅行等定期行事と、明治大学マンドリン倶楽部を招いての演奏会(今年6月25日に第5回チャリティコンサートを予定)等を実施いたしました。

松戸地域支部の活動は積極的であり、実に活動的であります。これは支部役員を始め、会員の皆さんの母校への熱い思いと、青春時代の回顧の念の現れだと思います。

二十歳の頃の自分と、卒業して数十年が過ぎた今の自分を比べて、自慢してみたり、反省したり、また母校への感謝の情が活性行動を起こさせているのではないかと思います。

又、社会に出て、経験を積むことによつて得た、自信や確信を後輩へ伝えたいという思いもあるのではないかと思っています。さらに当支部は会員親睦を深めるために、ゴルフ倶楽部とカラオケ倶楽部があり定期的に活動をしています。比較的年齢の高い方の参加が多く、若い頃の自慢話や孫や曾孫、趣味や道楽、世間話に大声で笑ったり、病気で苦労した話に涙したりして人生を楽しんでいます。まさに会員と会員を繋ぐ潤滑油であり、支部運営になくてはならぬものとなっております。

話はかわりますが、私は学生時代に体育会自動車部に所属し、当時の学生運動真つ盛りの頃と相俟って、自由な時間が多く(学校封鎖による休講が多かった)、部活動にほとんど費やしていました。部のためのアルバイト、部誌発行のためのスポンサー探し、競技の練習、車両整備の実施など、部活動のあらゆる面を経験しました。このことが、学生から社会人になった時、大いに役立ったと思っています。社内の先輩、後輩、同輩としての接し方、世の中の動きを見極めること、家族との接し方などいろいろな面で勉強させていただきました。そのときの経験を生かしながらこれからの支部運営に携わっていきたいと思っております。

(昭48年経営卒 田居照康)

船橋地域支部

第3回歩こう会(海寄りコース)を実施

今回(10月14日参加者14名)は、船橋の歴史ある寺町と漁師町である古き町並みの魅力を感じながらコースであります。案内人から資料を手渡されたと駅前前の昭和2年船橋、鳥瞰図(松井天山)の説明文があり、明治27年鉄道が開通してから水運業が衰退し、駅を中心に人の流れと商業が大きく変貌した。

◎JR船橋駅前から駅前十字路までの総武線が開通したばかりの駅周辺は、畑(南口)と水田(北口)でした。駅前から船橋砂州上の本町通りにかけて造

成された道が十字路に向かつてわずかに上がっています。

昭和22年、道路計画変更によりT字路から十字路に変わり、昭和46年県内初のスクランブル交差点となりました。

◎太宰治は、昭和10年から15ヶ月宮本で借家住まいしていたとき、夾竹桃と青桐を現在の市民文化ホール前に移植しました。

◎浄勝寺は、浄土宗のお寺で、芝増上寺の末寺です。境内には、筆子塚、女郎地蔵さん、木の柵に囲まれた「ほうはく隊の墓」が供養のため建てられました。

◎漁師町は、海神から延びる船橋砂州の南斜面に発達した漁師集落です。この集落は、大神宮を中心とした海上勢力傘下に入り、徳川家康より『御菜浦』という特権を与えられ、船橋で獲れた鮮魚を江戸城に定期的に献上する誇り高い漁師町でした。

◎不動院は、漁師町にある真言宗のお寺です。1746年船橋を大津波が襲い、多数の溺死者が出て供養するため造られた石仏です。

◎大仏追善供養と飯盛り大仏は、1824年三番瀬の漁場で船橋漁民と猫実村の漁民との間で争いがあり、殴打する事件が起こりましたが、捕えられた船橋漁民3名が寒さと飢えに責められて亡くなった霊を弔うため、漁民は大仏の前に集まり、白米の飯を塗りつけるようになりしました。

◎圓蔵院は、1556年開基された真言宗の寺院です。地蔵寺が建っています。石仏地蔵菩薩立像は、430年前の戦国時代に建立され毎月23日が縁日です。

『願い事を何でもかなえてくれるお地蔵さま』と地元の人々に親しまれて線香と蠟燭が絶えることはありません。

そのあと、円形トイレに立ち寄り太鼓橋(集合写真)を渡り、4年前の津波のとき活躍した水門を見ながら潮の香りと船橋港にたどり着きました。

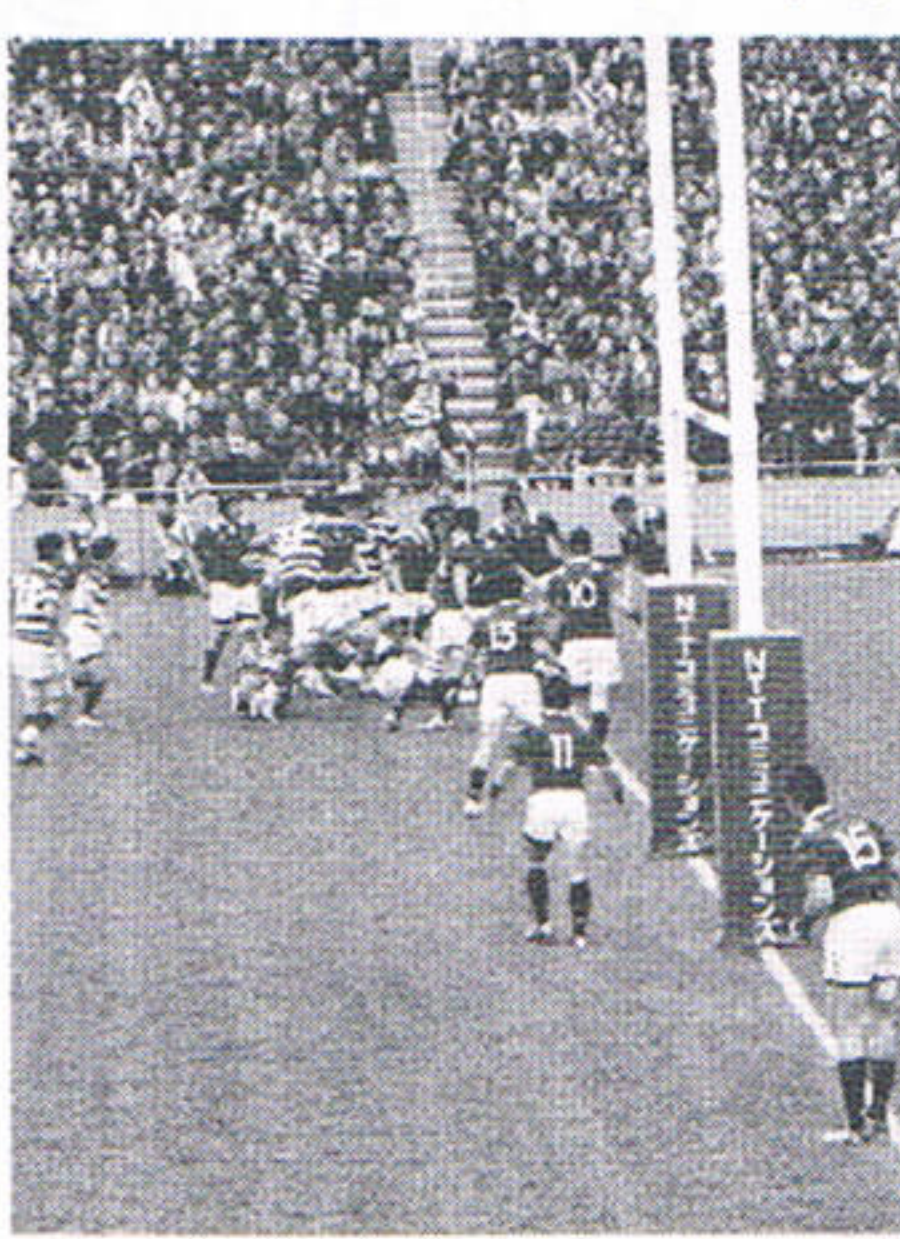
参加者からは『船橋にこんな街並みがあったのか』との声も聞かれ、船橋の歴史を知る上で、少しでもお役に立てば幸いです。

(昭43年政経卒 六澤豊治)



流山地域支部

ラグビー場に響いた校歌の力



流山地域支部では、毎年12月の第一日曜日に早稲田大学とのラグビー定期戦の日に忘年会をしています。伝統の一戦を観戦してから祝杯をあげようという算段です。このところ負けがこんで残念会になることが多く、美酒が渴望されていた昨年は、勝てば久しぶりの対抗戦グループ優勝とあって、下馬評も高く、二十人ほどで秩父宮ラグビー場へ応援に行きました。

かつてラグビーは応援合戦などなかったのですが、昨今はハーフトタイムにチャールスのパフォーマンスがあります。そして昨年は、試合前に両校の校歌が流されました。初めてのことでと思います。先に早稲田、次いで明治の校歌になりました。すると静かにしていた満員の観客が次々に立ち上がって「白雲なびく」の大合唱になりました。7割余りの人々が歌ったように思います。これに奮起したのか、明治が勝利し、我々は渴いた喉を存分に潤すことができました。

若者の気概を歌い上げた明治大学校歌には、一大学の校歌という枠を超えて歌う者、聴く者の胸を打つ不思議な力があるのではないのでしょうか。私は、かつては学生と、今は校友会の催しで歌うのが主ですが、そのたびに時空を超えた感慨を覚え、素晴らしい校歌に恵まれた幸せを感じます。向殿校友会長の力説する「明治はひとつ」を理屈抜きに体現するのが、校歌大合唱だと私は確信しています。

最後になりましたが、私こと、昨年の流山地域支部の総会で地域支部長の役を退かせていただきました。西部支部の皆様、特に支部長、各地域支部長、流山地域支部の方々には長い間、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。数年後の全国校友千葉大会で、校歌大合唱の輪に加わることを願っています。

(昭36年院文修士課程卒 小嶋 尚)

第52回 全国校友鳥取大会のお知らせ

今年も明治大学全国校友大会が開催されます。

今回は、創立者のひとり 岸本辰雄先生のふるさと鳥取県です。明治法律学校を創設し、初代校長に就任しました先生のルーツを訪ねる大会です。会場のとりぎん文化会館では、「岸本辰雄先生資料展」も開催されます。お誘い合わせて多数ご参加ください。

日時：11月13日(日)

場所：とりぎん文化会館(記念式典)

ホテルニューオータニ鳥取(懇親会)

テーマ：来なんせ、鳥取！

創立者 岸本辰雄先生のふるさとへ

第十三回 千葉県西部支部

総会・懇親会のお知らせ

日時 平成28年6月19日(日) 午後1時

会場 山崎製パン企業年金基金会館

(JR総武線「市川駅」下車徒歩2分、

京成電鉄「市川真間駅」下車徒歩4分)

会費 六千円

アトラクション マンドリン演奏

第12回 千葉県西部支部 総会開催

平成27年度千葉県西部支部総会が、つくばエクスプレスの柏の葉キャンパスに誕生した「柏の葉カンファレンスセンター」で、昨年6月21日(日)に開催されました。

今回は流山地域支部の立ち上げから支部長を務められました小疇尚先生による講演会の開催もあり、「日本にマンモスがいた頃」というテーマで大変興味深いお話でした。

総会にご来賓の方を含め147名の出席者があり、新しく流山地域支部の支部長に就任された広井武昭副支部長の開会の挨拶で始まりました。今回は本部会則の改正に伴って、支部会則の改正もありましたが会員の皆様のご協力もあり、滞りなく議事は進みました。

会場を移しての懇親会では、大いに賑やかな時間を過ごし、恒例の校歌斉唱で幕を閉じました。千葉県西部支部の総会は、担当地域支部が毎回いろいろな趣向を凝らしていますが、今回は全く新しい施設での開催となり、担当の流山地域支部の校友の皆様には御苦労をお掛けしたと思います。ありがとうございました。

(昭62年法卒 武士田卓志)

第十九回「ホームカミングデー」のお知らせ

開催日 平成28年10月23日(日)

会場 明治大学駿河台キャンパス全域

(リバティータワー、アカデミーコモン、グローバルフロント)

マンドリン倶楽部演奏会のお知らせ

明治大学マンドリン倶楽部のチャリティ演奏会が、今年は松戸で開催されます。

日時 6月25日(土)

開演午後3時(開場午後2時)

会場 森のホール21 大ホール

指揮 甲斐靖文 常任指揮者

ゲスト ペギー葉山

入場料 二千五百円(全席自由)

主催 松戸地域支部

各地域支部の総会・懇親会

- ☆我孫子 4月17日 けやきプラザ
- ☆柏 5月8日 ハート柏迎賓館
- ☆市川 5月15日 山崎製パン企業年金基金会館
- ☆浦安 5月21日 浦安ブライトンホテル東京ベイ
- ☆流山 5月22日 割烹せきや
- ☆船橋 5月29日 船橋グランドホテル
- ☆松戸 10月30日 聖徳大学10号館

編集後記

全国校友千葉大会が3年後(2019年)に決まり、今後、東西支部が一層のコミュニケーションを深め協力体制で準備を進めなければなりません。紙面作りも頁数を増やし多少ゆとりのある広報紙に思っております。(関記)

編集委員

- 関 俊雄(編集長) 新井 正和(浦安)
- 宇津野史行(松戸) 猪瀬 安次(我孫子)
- 山田 秋彦(柏) 山崎とよ子(船橋)
- 明村 澄雄(市川) 大和田 隆(流山)
- 武士田卓志(幹事長)